



つのちょう

第52号

議会だより



天狗高原の星空

12月定例会

平成30年2月1日発行

主な紙面

発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 議長 大崎公孝
印刷 笹岡印刷所

平成29年度一般会計予算	2P
行政報告	4P
町政を問う（6人が一般質問）.....	5～13P

一般会計補正予算

12月定例会

農地災害復旧費
公債費繰上償還金等

4億9,800万円を増額

総額62億5,900万円

12月定例会は、8日から13日までの6日間開かれ、平成29年度補正予算をはじめ、議案13件を原案のとおり可決、承認した。

一般質問には6人が立ち、林業振興、通学路の安全確保、ふるさと納税、子育て支援、働き方改革、福祉政策等について執行部をたずねた。

29年度補正予算

▼一般会計補正予算(第5号)

台風18号による農業用施設農地現年発生災害復旧費を1千万円増額し、公債費元金の繰り上げ償還4億9千503万9千円及び各事務事業の決算見込み額に対する過不足額を計上。

歳入歳出4億9千800万円を増額し、歳入歳出の総額を62億5千900万円とする。

可決(全員一致)

▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

事業勘定で職員の人件費等117万7千円減額。直営診療所勘定で各診療所施設の停電対策等で592万4千円増額。

歳入歳出の総額を事業勘定9億2千551万9千円、直営診療所勘定1億5千795万9千円とする。

可決(全員一致)

▼介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

職員の人件費85万5千円減額し、歳入歳出の総額を7億8千885万5千円とする。

可決(全員一致)

▼簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

職員の人件費37万5千円増額し、歳入歳出の総額を6億915万1千円とする。

可決(全員一致)

条例の改正

▼津野町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業期間延長の改正をするもの。

可決(全員一致)

▼津野町職員の給与に関する条例の一部改正

本年、人事院が行った国家公務員の給与に関する勧告にあわせ、職員に対して支給する給与月額及び勤奨手当を一部改正するもの。

可決(全員一致)

その他の議案

▼財産の無償譲渡

建物の種別
旧貝ノ川集会所
譲渡の相手方
貝ノ川地区会

可決(全員一致)

▼土地の取得

取得の目的
津野町防災拠点施設用地
土地の所在地
津野町永野字北河264番1
ほか7筆
地目及び面積
田 6千809㎡
取得予定金額補償費を含む
1億4千194万248円

可決(全員一致)



防災拠点施設用地

▼高知市及び津野町におけるれんけいこうち広域都市圏形成に係る連携協約の締結

高知市と「れんけいこうち広域都市圏」を形成するに当たり、連携して実施する取り組みの基本的な方針及び役割分担を定める連携協約を締結するもの。

可決（全員一致）

専決処分の承認

▼平成29年度津野町一般会計補正予算（4号）

衆議院議員選挙費1千300万円を増額し歳入歳出の総額を57億6千100万円とする。

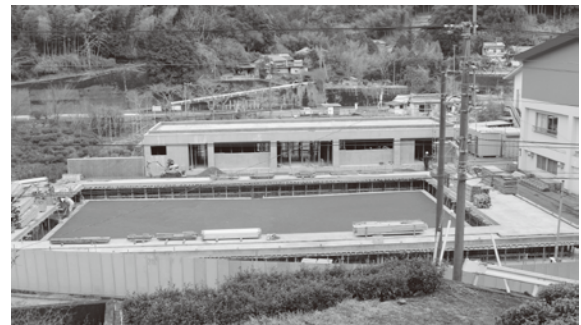
専決処分の報告

平成28年度（繰越）葉山中学校プール改修工事請負金額を430万2千720円増額し、1億3千757万4千720円とするもの。

平成29年度小中学校空調機設備整備工事請負金額を497万8千800円増額し、5千703万4千800円とするもの。

平成29年度片岡直輝・直温出生地家屋保存改修工事請負金額を438万1千560円増額し、5千393万1千960円とするもの。

平成29年8月24日に発生した、町道和田線横断用側溝蓋の跳ね上がりによる車体下の損傷事故について、和解及び損害賠償額を決定したもの。



葉山中学校プール

平成29年10月2日に発生した、椎の木公園の草刈り作業中に小石が飛散し、走行中車両のフロントガラスを損傷した事故について、和解及び損害賠償額を決定したもの。

平成29年8月17日に発生した、町道姫野々線から町道弓場線を経由して国道197号を西進方向に右折した際、須崎市方面より西進してきた相手方所有の車両に接触し、損傷させた物損事故について、和解及び損害賠償額を決定したもの。

陳情の審査

▼「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第2条に規定する国の負担又は補助の割合の特例の継続等に関する意見書について

（決定） 採 択

▼2019年10月の消費税率10%への引き上げを中止することを求める意見書採択のお願い

（決定） 不 採 択

▼農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情

（決定） 採 択



小中学校空調設備

議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です。 3月・12月（本庁舎議場）
6月・9月（西庁舎議場）

たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

町長 行政報告



池田町長

次年度予算編成方針

外国人観光客増加に対応した観光文化施設の整備、ポスト維新博に向けた取り組み、「住まい」をテーマに民間の力を活用した移住・定住促進、地震に備えた施設整備、子育て支援の充実、道徳教育と併せて学ぶ力を育む取り組みを重点施策とする。

総合防災訓練

今年度の総合防災訓練は、旧白石小学校とB&G海洋センターとの同時進行で行い、災害対応や連絡体制が確認できた。また、避難所運営マニュアルに基づき避難所開設訓練を行い、避難者の受付や備蓄品の確認、炊出し訓練、避難所開設時の居住スペースのレイアウト等を確認し、実践的なイメージをつかめたと感じている。

春日山周辺整備計画

地権者の方々に土地売買の同意をいただき、今後土地造成の測量設計や、町の防災拠点施設整備の基本設計に着手する。防災拠点として可能な限りの木造化をテーマに、企画提案方式により業者選定を行う。

地産地消・外商販売戦略

農家所得向上と交流人口の拡大に取り組んでいるが、これに豊富な地域資源を活用した産業としての観光を加え、町を総合的にプロデュースする地域商社的な機関を設立し外商を行う必要がある。

現在、経済同友会企業に津野町へ人材派遣の可能性を検討していただいている。1月下旬に同企業の人事担当者と直接交渉の予定。

国民健康保険の制度改正

来年度から県が国保財政運営の責任主体になるため「高知県国民健康保険運営方針」が策定された。国保事業費納付金算定方法や医療費適正化の取り組み等がまとめられたこの方針に基づき運用期間は平成30年4月1日から3年間であり今後、津野町国保運営協議会において、国保税率や町の方針等を決定する。

観光拠点整備の取り組み

天狗荘は星空の名所として名を広め、香港など外国人観光客も増加している。重要な観光資源である天狗高原と四万十川源流点は、その核となる天狗荘とせいらんの里の老朽化が課題であり、県に協力を依頼し施設整備に取り組む。

志国高知幕末維新博効果

幕末維新博は、観光交流人口増を目標として取り組んでおり、11月末現在、吉村虎太郎邸の入館者数は5千名を超え昨年度の約2倍。維新博開幕以降の津野町郷土資料館入館者数は昨年度の同月より300名程増加し970名余りとなっている。

片岡直輝・直温の生家

片岡兄弟の生家の保存改修工事は、本年2月完成予定。4月には完成記念行事、片岡直輝・直温企画展を開催したい。



津野町郷土資料館

問 若者支援一覧冊子は

答 新たに発行したい



高橋 眞一郎

一般質問

高橋

津野町が行っている若者支援事業34件の冊子の作成は。

池田町長

出会いから結婚・出産・子育て、住環境など多種多様な支援がある。町民に情報提供していくことが大切であり、新たなパンフレットを発行したい。



高橋

高校生に対する支援は。

問

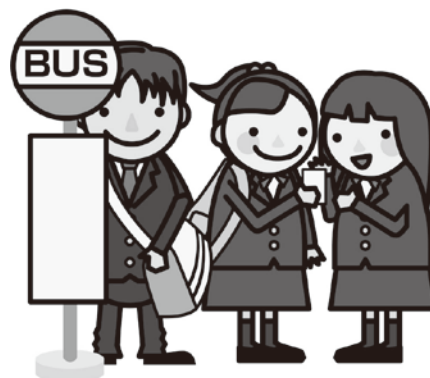
高校生の通学支援は

答

支援策を協議

池田町長

全ての学生に均等な支援のあり方を探る必要がある。30年度の実施に向け支援策の協議を進めている。



問

精華小のあり方の進捗状況は

答

保護者アンケートを実施

高橋

9月議会以後の精華小学校のあり方の進捗状況は。
池田町長
12月に総合教育会議を計画しており、議題となる。

久寿教育長

精華小の適正規模に関する保護者アンケートを実施し、保護者の意見を伺った。この結果を踏まえて、今後のあり方の議論を進める。



川上 智子

一般質問

問 林業支援で後継者育成を

答 核は森林組合

川上

優れた技術を持ち模範的な林業経営を行っている林家に給料の一部を支援するなど後継者の育成指導を依頼できないか。また担い手育成と共に移住定住に結び付けるため安定した収入や住居などトータル的な支援が必要ではないか。

池田町長

技術と技能を持つ就労者を育てることが大事。その

核となるのは森林組合であると思うている。安定的な収入についても組合なら通年の雇用確保が可能である。住居については、もっと選択肢の広い空き家情報を提供しながらしっかり取り組んでいく。



間伐による森林整備

問 流木被害の可能性と対策は

答 森林整備で保安に努める

川上

近年の日本各地での集中豪雨や大地震は、今までの私たちの常識を超える土砂災害等を起こしている。昨年7月の九州北部豪雨でも過去最大級の流木被害が報告されているが、本町においての被害の可能性と対策は。

池田町長

本町の9割が森林の中、7割近くが人工林でありその多くが未整備となっている。その理由のひとつは不在地主の多さである。所有者の判明しているところから、組合等と共にしっかり保全に努めたい。



かわうそ公園でのイベント

問 イベント開催の見直しは
答 どう仕掛けていくか

川上

大切にすべきことは主催者・参加者が幸せや生きがいを感じること。多くの集客や住民の方々が楽しむための工夫や見直すべき点があるのでは。

池田町長

各団体が目的を持ち議論し実施している。皆がやっ
て良かったと思えるよう行政が主体になり調整機能を果たし仕掛けていく。心して対応していかなければと思っています。

問 どうする人手不足

答 生活環境の整備で対応

川上

移住促進の観点から設置した「津野町無料職業紹介所」の開設から一年。その役割は果たせているのか。また、人手不足の問題の現実を直視して対応すべきでは。

池田町長

求人登録2件、求職者数1件と伸びていない現状である。今後も初期の目的達成に向け、広く周知に努め見直していく。
賃金を上げるには限界があり住む環境と子育て環境を整備し雇用確保したいと考えている。



問 通園・通学路の安全対策は

答 関係機関等に要望する



石川 寿朗

町外で見
られる黄
色の大き
な標識



石川
町内の認定こども園・小
学校・中学校付近の通園・
通学路の路面に交通安全の
目立つ標識がなく、横断歩
道や白線（区画線）がはっ
きりしていない箇所がある
現地を確認し早急に対応し
ては。

一般
質問

池田町長

通学路安全対策連絡協議
会で現地調査をし、検討を
行っている。具体的な要望
事項は提案したい。区画線
は、緊急性の高い順に対応
する。
国道については、各道路
管理者と公安委員会の管轄
である。要望・提案し、議
論をしていただく。



佐川町「斗賀野小学校」前



役場町長室

問 町長の職務の公表を
答 町民の意見を聞き判断を

石川

議会議員の活動は、議会
だよりで公表している。
町長の職務、特に、公費
使用の県外出張等主要な職
務は広報に掲載する等、町
民に公表すべきでは。

池田町長

主要な行動については議
会時に一般行政報告として
文書を配布している。
広報掲載については、紙
面の都合上、広報編集委員
会との協議が必要である。
掲載するかは、町民の意見
を聞き判断したい。
下元総務課長
昨年度の町長の県外出張
経費約77万円。県外出張日
数35日。

問 永林の町道橋の改修は

答 本工事は議決後に



老朽化した永林の「八幡橋」

石川

新土居永林の町道橋（八幡橋）は既に100年近く経過している。後付けの歩道やガードレール等非常に老朽化している。改修はいつ頃か。工事期間はどのくらいか。

高橋建設課長

1月末には設計が仕上がってくる予定。工事期間は、議会での予算の議決をいただき、補助金の内示後に着工時期があらかた明確となる。設計書が仕上がっていないので、はっきりした標準工事期間は言えないが、経験値から想定すれば、発注後5カ月から6カ月程度だと思う。

石川

出先機関も含め臨時職員が多い。定数外職員取扱要綱に基づき、措置や公務員法の制約の中で、町も安定的雇用の努力はしているが、正職員と同様の資格をもち、責任を負い仕事をしている方々もいる。通算約10年間、数百円しか賃金アップのない方もいると聞くが事実か。臨時職員の人事評価をしているなら、賃金アップや定期昇給は必要ではないか。

池田町長

定数外職員取扱要綱は、最低賃金を参考に検討を重ね、毎年見直している。10年間で数百円という話は記憶にない。

臨時職員の人事評価は、正職員と内容は違い、事務補助、ゴミ収集、公園管理等職種に応じた評価をし、仕事への意欲を高めることが一つの目的である。管理監督部署とのコミュニケーションを図る中で、その評価に基づき雇用継続の判断基準とするものである。

その他の質問

問 職員採用試験に工夫を。
答 役場の魅力を訴える。

問 臨時職員の待遇改善を

答 最低賃金を参考に

問 ふるさと納税と返礼品

答 返礼割合3割以下で減少



大崎 芳章

一般質問

池田町長

7月から返礼品割合を3割以下にしている。事業者や個人に常に声掛けをして、期間限定を含め返礼品は増やしている。

使途については、納税者に津野町の具体的な思いを工夫して明確化を検討する。大崎

企業版ふるさと納税は企業の寄付の見込みをたて、内閣府の地域再生計画の認定を受けて計画しているが、企業にさほどの魅力がないことから若干厳しいと捉えている。

下元総務課長

納税件数は12月1日現在で409件の753万円で、昨年同期と比較して41件の503万5千円の減となっている。7月まで伸びていたが、見直し後は大きく減っている。

返礼品の人気商品は、件数で満天マルシェの野菜と土佐ジローの卵。金額では、源流棚田米で10万円の寄付が50件近くあり、5万円を含め非常に多かった。返礼品は更に掘り起こしをして数を増やしていく。



葉山郵便局

問 貨客混載サービスは

答 事業化できるか不透明

池田町長

9月1日から、お客を運ぶ車に荷物を積んで運ぶ貨客混載サービスが始まり、津野町もその地域に指定された。民間も含め町に打診があったか、あれば検討するのか。

津野町では高陵交通の路線バスとタクシーが対象になる。葉山郵便局の集配とヤマト運輸系の新田配送センターがあり、事業導入ができるのであれば積極的に関与したい。事業者の動向を見極めていく。

問 もっと林業支援を
答 国の動向を見極める

池田町長

国・県事業、町の単独事業で厳しい林業環境の中で支援をしている。森林環境税が創設されることになり、前倒しで譲与税の配分の動きがある。財源を確保しながら林業支援を協議する。

戸田産業課長

国は造林補助事業で事業費は68%の補助率。県は緊急間伐総合支援事業で、切り捨て間伐・搬出間伐・作業道開設がある。地域林業総合支援事業で、3人以上で林業機械導入に3分の1の助成。町は国庫補助事業のかさ上げ補助をしている。

大崎

町内の商店の活性化のために、町民のみのプレミアム振興券を発行しないか。また、町民運動会等の賞金等を町内共通の商品券にしては。

池田町長

国の地域振興券は、経済対策・子育て支援や低所得者への生活支援などを明確にして発行している。時期や目的を見極めて行うべきで、現在は考えてない。

町民運動会に商工会の商品券を一部の景品で活用している。町内どこでも使えるよう商工会に事業化を考え、行政の支援を検討する。

問 振興券を発行しては
答 目的がないのではない



新田商店街

その他の質問

問 町内の学校を自由校区にする考えは。

答 通学区制度の弾力的な運用に努める。

大崎

林業の振興は津野町には欠かせないものであるが、補助額が少ない、収入が低いので後継者の育成ができない、木を切る技術者がいなくなる等、良い話は出てこない。国や県の補助・助成制度について町の考えを聞く。



船戸の朝見谷土場

問 労働条件の改善を

答 格差是正に取り組む



大崎 健夫

一般質問

大崎

同一内容の仕事に対しては同一の報酬が原則。役場及びその関連職場で働く職員と臨時職員との間に大きな格差がある。

この労働条件を改善して、働きがいを感じる職場づくりに取り組むべきではないか。

池田町長

臨時職員については大きな賃金格差がある。このことは国会でも審議されており、格差の改善に前向きに取り組んでいくことになると考えている。

大崎

高齢化が進むなかで農地の耕作放棄地が年々増加しているが有効な方策が見出せていない。なり行きまかせになっっている感がある。このままでは人力では対応出来ないと思う。畜力を活用した畜産放牧による対応策を考えられないか。

池田町長

耕作放棄地は27年度で34haと年々増加している。その対策として中山間地域直接支払制度がおおいに役立っている。小規模の集約営農など積極的に取り組んでいきたい。畜産による農地維持の先進的な事例もあると思うが今は考えていない。



問 耕作放棄地対策は

答 中山間地域直接支払制度は有効

その他の質問

問 消防団員の出勤手当の増額と年末手当の検討を。

答 高幡消防組合で議論する。

問 教職員の勤務時間の実態は。

答 原則7時間45分となつていいるが大幅な超過勤務が実態である。

問 中学生の模擬議会を実施しては。

答 中学校側と相談して実施したい。



杉ノ川診療所

西元

地域医療構想の中で県が高幡医療圏域に対し、医療提供体制の充足等を図るとしている。早急に取り組むべき課題は。

また、地域医療構想を

施するため、町内医師による住民への予防講座をしては。

池田町長

特に杉ノ川診療所はへき地医療協議会からの派遣医師であり、医師確保は大きな課題。広域で在宅医療をどう推進していくか以前に、町内の公立診療所を維持していく方が大きな課題である。併せて検討・研究していく。

講座を開くことについては非常に重要であると考えている。予防の面からも、しっかり力になってほしい。



西元和代

一般質問

問 医師による予防講座を

答 開催は重要

西元

介護保険事業が第7期に入る。今や福祉施策だけの問題ではなく若い世代を仕組みの中に必要とする身近な取り組みとして住民の力を借りるべきでは。

また、2025年に向けた町の福祉情勢の予測と課題は。

池田町長

高齢化と共に要求は増えるが地域の担い手が育たない。広い地域での活動が重要だが、40・50代の方が関わりにくいいため、集落活動センターの一つをモデルに活動を広めようと県の指導のもとにスタート。福祉を主体とした集落活動を考え

問 予測と課題は

答 高まるニーズ
不足する担い手

ていかなくはと思う。
今橋健康福祉課長

今後一番の課題は専門職以外の生活支援の担い手とヘルパーの高齢化による不足である。



西元

問 4月からの体制は
答 行政・社協・関係団体で設置

協議体や生活支援コーディネーターをあて職で決めることは最もしてはいけないこととされており、準備に向けて予定していた生活支援サービスの充実に関する研究会は未設置である。このままでは若者1人に3人以上の負担がかかる。4月からの体制と取り組みは。

池田町長

協議体は3月までに設置しなければならない。行政・社協・NPO法人・民間企業・協働組合・ボランティア・介護サービス事業所・

老人クラブ・健康づくり団体・民生委員等の関係団体を調整しながら第1層の協議体を作り、運営できる形にしていきたい。

今橋健康福祉課長

地域によってニーズは違うが、集落活動センターを始めとする現活動は第3層。町全体である第1層の協議体ができたら第3層のニーズを吸収し、地域特性に合わせ柔軟に対応。まずは社協と共有するために行政連絡協議会を立ち上げ協議を進めている。行政と社協の目指す地域像のすり合わせを4月までに行う。

議会のうごき

12月

4 議会運営委員会
(本庁・委員)

11月

1 高知県戦没者追悼式

(高知市・議長)

4 県選出国会議員と町村長・町村議会議員との意見交換会

(高知市・議長)

5 津野町総合防災訓練

(旧白石小・B&G)

7 津野町戦没者追悼式

(酒蔵・議員)

8 高幡町村議会議長会臨時総会

(葉山運動公園・議長)

10 関東高知県人大懇親会

(東京都・議長)

12 産業祭・健康ふくし展

(西運動公園)

姉妹まち訓子府町歓迎懇親会

(議長)

20 地方自治法70周年記念式典及びシンポジウム

(東京都・議長)

21 高幡町村議会議長会県外研修

(茨城県・議長)

県選出国会議員との意見交換会

(東京都・議長)

22 町村議会議長全国大会

(東京都・議長)

25 津野消防団情報交歓会

(奥四万十の郷・議長)

ちょっと一言

平成30年の幕開けから1カ月が経ち、各地区の役員も引継ぎを終え、新たな顔ぶれとなった。ご多聞に漏れずここ津野町でも新役員選出、共有財産の維持管理や行事への人手不足に悩まされている地域が少なくないのでは。

改めて古き良き伝統・文化を引き継いでいくことの素晴らしさと難しさを同時に感じる。失くしてしまわないため、時代と共にどこまで変化させられるか？の課題にたどり着く。

2月16日には早くも旧正月を迎える。お正月といえは、お餅に敷いたり門松に使うユズリハ。常緑樹であり春に新葉が整ったころ、相譲るように古い葉が落ち

編集後記

12月議会は6人が質問に立ちました。一議員の持ち時間は上限80分です。一つの質問項目については2回まで問い返すことができます。

議会だよりは約一時間位のやりとりを要約したものです。

詰めが甘いとの印象を与えているのもその通りだと思います。

議員の力量不足、答弁者のその場しのぎの答弁、質問に対していかうまく切り抜けるか、議会対策用の答弁になっているのではないか。町長には議員に対しての逆質問、反問権がありますが実際に使われたことはありません。

本気の議論をするためにも議員も反問権に対抗できるように勉強していくことが求められていると私は思います。

(文責・大崎健夫)

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局

新旧が入れ替わることが名前の由来である。„親子草“という別名を聞くとなんともほっこりし(まで)て、それでは子どもがいつまでも成長しなければ親はずっと落ちずに見守っていてくれるのだろうか？ふと思った。(いやいや、そうなるかと代謝が悪くて幹もろとも枯れてしまうだろう。)

一本の木に生きざまを重ねてみる。先輩を見て敬い、そこに学ぼうとするもの、そしてこれからの時代を生きるものを想い新しいことを受け入れる勇気を持つもの。両者が絶妙のバランスで相譲ることができれば、きつと深緑に輝く葉をたわわに揺らす木が大きく枝を広げ、堂々と立ち続けるのだろう。

津野町議会だより 発行調査特別委員会

委員長 西元和代
副委員長 石川寿朗
委員 中山昭英
委員 川上智子
委員 大崎健夫
委員 大崎芳章

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。